計画期間及び全体スケジュール

計画期間は、開業までの2021（令和3）年度から2030（令和12）年度の10年間としますが、開業後の取組に着実に繋げるため、その見通しも示します。

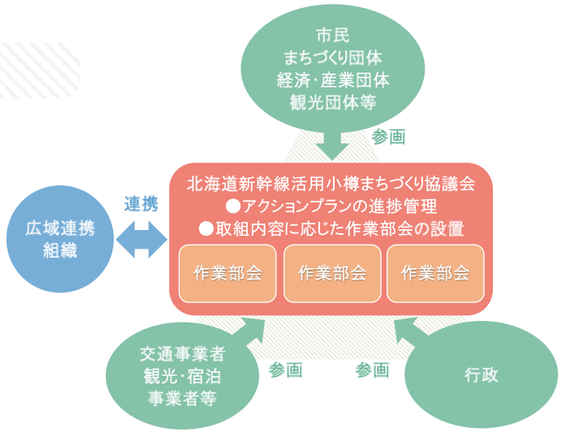
	第1フェーズ《実行可能性調査等》（開業9～3年前）	第2フェーズ《実行準備等》（開業2～1年前）	（開業年度）	第3フェーズ《実行》（開業後）
2次交通対策の主な取組				
2次交通網の構築 利便性の高い	利用者ニーズ調査、需要・採算性検討	運行路線の絞り込み	運行路線決定	バス・タクシー運行、状況に応じた見直し
		必要な車両・設備等の検討・導入		
	レンタカーの環境整備、事業者誘致		レンタカー拠点設置	レンタカー拠点稼働
		レンタサイクルの可能性調査、事業者募集		レンタサイクル運営
		運行支援スキーム構築	運行支援実施	
基盤づくり 実効性を高める	MaaS等の研究・実証実験	ICTを活用したサービスの試行・提供		
	広域連携組織の構築	広域連携サービスの協議・展開		
	駅、駅附帯施設、駅前広場等の協議・設計・工事			
	乗り継ぎ拠点の設定やユニバーサルデザイン導入等、利便性向上の環境整備			
利用促進 公共交通の		情報発信や利用促進サービスの検討・実施、協働による景観形成		
		案内・サイン設置、新幹線ダイヤについての要望		
	外国人対応の強化、移住・定住促進策の検討・実施			
ソフト対策の主な取組				
の誘致拡大 個人観光客	旅行商品の検討・開発、モニターツアー実施、改善			
	新幹線駅のある自治体と連携体制構築			
		情報発信の検討・実施、旅行商品等のPR		
	フリーWi-Fiの整備			
繋げる取組 地域の活力に	宿泊客拡大に向けた取組の検討・展開、観光資源の磨き上げ			
	小樽産食材の活用・産業観光の検討・展開、地域特性を生かした商品の開発・販売			
	観光入込の季節間の平準化に向けた取組の検討・展開			
	外国人観光客への対応力強化			
	新駅周辺における民間機能誘導、企業立地ニーズへの対応			
魅力づくり 新駅周辺の	奥沢水源地と勝納川の整備検討			
	新駅周辺の観光プログラムの開発・試行・展開			
の醸成 開業気運		開業気運を高めるイベント・カウントダウンの実施		
	市民等の利用促進策の検討・実施			
		開業イベント等の検討・実施		

推進体制と進捗管理

○取組内容に応じて、本協議会に作業部会を設置するとともに、各事業主体が実施に向けた検討を進め、実施可能なものから順次実行に移します。

○広域的な取組については、広域連携組織と連携して実施します。

○本協議会が、各取組の整合を図りながら、進捗管理を行います。



おたる新幹線まちづくりアクションプラン（概要版）

案

2021年3月
北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会

アクションプランについて

本アクションプランは、「北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画」に基づき、2030（令和12）年度末の、新小樽（仮称）駅（以下「新駅」）の開業に向け、官民一体となって新幹線の開業効果を最大限に活用した魅力あるまちづくりを行うための、具体的な行動計画です。

北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画
《2017（平成29）年3月・小樽市策定》

↓

おたる新幹線まちづくりアクションプラン

↕ 関連計画と整合を図る

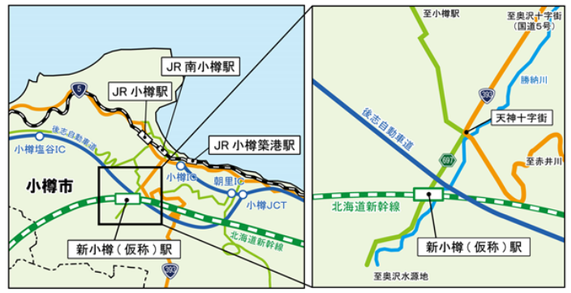
小樽市総合計画
小樽市観光基本計画
他　関係計画など

策定時点における現実的かつ効果的と考えられる取組を記載

↓

開業までの状況変化等に応じて見直し

北海道新幹線路線図



新駅の位置図

アクションプランの二つのテーマと基本方針

2次交通対策

○基本方針1　利便性の高い2次交通網の構築

既存の2次交通手段を活用するとともに、新たな交通手段やサービスの導入を検討し、新幹線利用者にとって利便性が高く、持続可能な2次交通網を構築します。

○基本方針2　実効性を高める基盤づくり

基本方針1で検討した取組の実効性を高めるため、ICTの活用促進や広域連携体制の構築、乗り継ぎ環境整備などの基盤づくりを行います。

○基本方針3　公共交通の利用促進と充実の好循環

情報発信の強化や公共交通の利用を促すサービスの提供、移住・定住の促進などにより、公共交通の需要拡大を図り、基本方針1に掲げる2次交通が充実する好循環を目指します。

ソフト対策

○基本方針1　新幹線開業を契機とした個人観光客の誘致拡大

新駅開業により増加が見込まれる個人観光客向けの観光プログラムや旅行商品等を検討するとともに、地域連携や電子媒体の活用による効果的な情報発信を行います。

○基本方針2　新幹線開業を地域の活力に繋げる取組

新幹線の開業効果を地域に広げるため、滞在時間の延長と宿泊客拡大に向けた観光資源の磨き上げや、地域産業と観光の結びつきの強化、中小事業者の外国人観光客への対応力強化等に取り組みます。また、新幹線開業を契機とした企業立地の促進を図ります。

○基本方針3　新駅周辺の魅力づくり

新駅周辺の地域資源を活かした新たなまちの魅力づくりとして、奥沢水源地とその周辺の自然環境を活用した観光プログラムの開発や、新駅からアクセスしやすい観光資源と連携した観光プログラムの検討を行います。

○基本方針4　開業気運の醸成

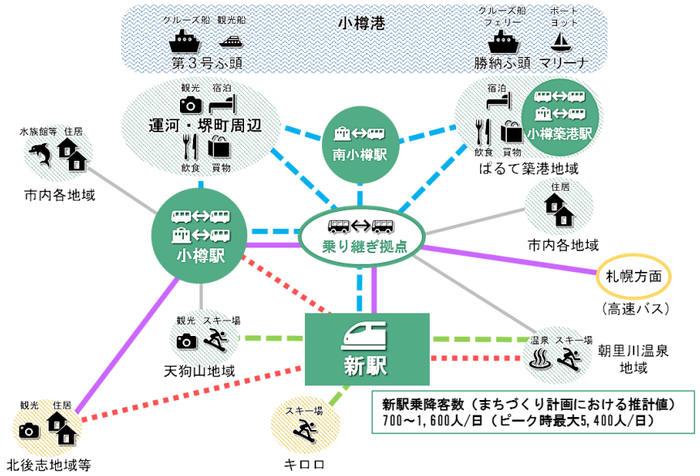
新幹線の開業効果を地域全体に広げるため、市民の開業気運の醸成や利用促進を図るとともに、広域連携による開業前後のイベント開催等を行います。

2次交通対策の概要

基本方針	項目	取組の概要
1．利便性の高い2次交通網の構築	(1)バス交通の充実	ア．新駅と市内中心部を結ぶ専用シャトルバスの運行
		イ．現在の路線バスの活用
		ウ．新駅と朝里川温泉やスキー場を結ぶバス交通の検討
		エ．北後志地域等をつなぐ路線バスの活用
		オ．外国人観光客にも対応したバスの運行
		カ．持続可能な運行体制の構築
	(2)タクシーサービスの充実	ア．IoTを活用した配車システムの導入
		イ．外国人観光客にも対応したタクシーサービスの充実
		ウ．乗合タクシーの検討
	(3)レンタカーサービスの充実	ア．レンタカー事業者の誘致
		イ．レンタカーによる周遊性の向上
	(4)レンタサイクルの充実	ア．可能性調査を踏まえたレンタサイクル拠点の設置
		イ．身軽になってサイクリングを楽しむことができるサービスの提供
2．実効性を高める基盤づくり	(1)ICTを活用した新たなモビリティサービスの提供	ア．観光型MaaS等の新たなモビリティサービスの提供
		イ．交通・観光関連事業者のキャッシュレス決済の導入促進
	(2)広域連携を強化する体制の構築	ア．広域連携を強化する組織づくり
	(3)新駅の交通結節点機能の向上	ア．利便性の高い駅機能の確保
		イ．駅前広場等の整備
	(4)移動円滑化の取組の推進	ア．バスの利便性向上の環境整備
		イ．タクシーの利便性向上の環境整備
		ウ．ユニバーサルデザイン等の導入の推進
3．公共交通の利用促進と充実の好循環	(1)情報発信の強化	ア．積極的な情報発信・PR
		イ．新駅に向かう案内・サインの設置
		ウ．外国人対応の強化
	(2)公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ	ア．身軽になって観光を楽しむことができるサービスの提供
		イ．新駅と倶知安の周遊性を高めるサービスの検討
		ウ．クルーズ船等との連携
		エ．地域連携等による魅力的なサービスの提供
		オ．魅力ある車両の導入
	(3)新駅周辺の魅力づくり	ア．小樽のまちのイメージが伝わる駅舎や駅前デザインの検討
		イ．自然の豊かさや四季の移り変わりを感じる景観形成
		ウ．新駅の立地特性を生かした魅力づくり
	(4)移住・定住の促進	ア．新駅周辺における住宅の整備促進
		イ．新幹線通勤・通学者の利用増加に向けた取組
		ウ．交通事業者の人材確保を兼ねた移住・定住促進策

ソフト対策の概要

基本方針	項目	取組の概要
1．新幹線開業を契機とした個人観光客の誘致拡大	(1)小樽の文化・食資源を活用した多彩な個人観光客向けプログラムの開発	ア．東北圏や青函圏等と連携した旅行商品の開発
		イ．北後志地域と連携した個人観光客向けプログラムの開発
		ウ．倶知安・ニセコと連携した個人観光客向けプログラムの開発
		エ．小樽市内の歴史や文化資源、自然資源を広く活用した観光プログラムの開発
		オ．新幹線と他の広域交通を組み合わせた旅行商品の開発
	(2)地域連携や電子媒体の活用等による効果的な情報発信	ア．北海道新幹線停車駅のある自治体との連携体制の構築
		イ．地域連携による旅行商品等の幅広いPR
		ウ．SNSやHP等の電子媒体を活用した情報発信
2．新幹線開業を地域の活力に繋げる取組	(1)滞在時間・宿泊客の拡大を目指した取組	ア．宿泊客拡大に向けた取組
		イ．観光目的の多様化を踏まえた市内全域をフィールドとした観光資源の磨き上げ
	(2)小樽の地域産業と観光産業の結びつき強化	ア．小樽産食材の活用促進
		イ．小樽ならではの産業観光の推進
		ウ．地域特性を生かした新幹線車内で味わえる商品の開発
		エ．開業記念グッズの製作
	(3)観光入込の季節間の平準化に向けた取組推進	ア．観光入込の季節間の平準化に向けた各種取組
	(4)中小事業者を中心とした外国人観光客への対応力強化	ア．中小事業者を対象とした外国人観光客への対応力強化
	(5)企業立地の促進	ア．新駅周辺における民間機能の誘導
		イ．新幹線開業を契機とした企業立地ニーズへの対応
3．新駅周辺の魅力づくり	(1)新駅を起点とした新たな観光プログラムの創造	ア．奥沢水源地と勝納川の環境整備
		イ．奥沢水源地や周辺の自然環境を活用した観光ガイドプログラムの開発
		ウ．奥沢周辺の観光資源との連携
4．開業気運の醸成	(1)新幹線開業に向けた市民の意識醸成と利用促進	ア．市民の新幹線開業気運を高めるイベントの実施
		イ．開業までのカウントダウン
		ウ．市民等の新幹線利用の促進
	(2)開業気運を高めるイベントの実施	ア．北海道新幹線停車駅のある自治体や北後志地域が連携した開業イベントの実施
		イ．開業後のイベント実施



新駅からの人の動きと2次交通路線のイメージ

新駅周辺整備イメージ図

奥沢水源地の保存・活用のイメージ図
（出典：奥沢水源地保存・活用基本構想）